


カトリック京都司教区
 広報委員会
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075-211-3025
 FAX 075-211-3041
 honbu@kyoto.catholic.jp

京都教区時報

<https://www.kyoto-catholic.net/>

2024年 司教年頭書簡
 わたしのシノダリティを創ろうⅡ
 シノドスがめざす〈道〉と〈宿〉の宣教
 を受けて



第3回 「宿」 ～ 温かい連帯の拠点として

この原稿を書いている今は、元日に激震が走った能登半島において、実に多くの方々がお亡くなりになり、残された人々は余震の続く中、大きな喪失感や悲しみ、不安に苛まれながら避難所生活を余儀なくされている、まさにその時です。この拙文が皆様のお手元に届く頃には、能登半島に暮らす人々にも春が訪れ、生活の不安が少しでも取り除かれ、日常の中で希望を見出して歩みを始めておられることを切に願い、祈り続けています。

司教様は今年の年頭書簡において、「シノドスの教会」の意味を再確認され、私たち一人ひとりが、世界と「ともに歩む教会」になっていくこと、そのことを、善きサマリヤ人のたとえに見出される「道」と「宿」という象徴を用いて、一方向ではない「対話型の宣教」、多様な人々と「協働する」教会の大切さを説かれています。

今回、この書簡を読み、私自身が得た気づきとして、「宿」が意味することを上げたいと思います。旅の途中のサマリヤ人が道端で倒れている人を見つければ、あわれに思い、傷を介抱し、自分のそばに乗せて宿屋まで連れていく。この有名な箇所において、シノダリティの観点から、「宿」を眺めれば、これまでとは異なる視点をいただけるように思い

ます。倒れている人に対し、時間的、経済的な負担を自ら引き受けるという、サマリヤ人のみごとに利他的な側面に加え、彼はまさに、司教様が示される通り、宿屋の主人に対して協力を求めたのです。あれよあれよと巻き込まれていった宿屋の主人は、サマリヤ人から引き継いでその人のケアを始め、その宿屋は「連帯の拠点」となっていく。倒れ傷ついた人を中心に、「連帯」の輪は広がっていったことに、今日の私たちに對しても、具体的な行動の方向性が示唆されています。

能登半島地震で大きく被災された方々の、お互いに助け合っておられる様子が報道されています。行くところがない人々に、ある人はご自身の農業用ビニールハウスを提供し、皆一緒に暮らそうと言った。それに対する被災者のお一人の言葉を最後に引用します。「助かるね。本当に助かる。涙出る、本当に」。「みんな食べてくれるとおいしい。みんな泣かなくてしゃべられへん」。

イエスの時代のガリラヤにあって、現代日本にあっても、たとえそれがビニールハウスであろうとも、「宿」は「ともに歩む」ための温かい連帯の拠点になり得るといふ確かな証しではないでしょうか。



学校法人ノートルダム女学院 学院長
 ノートルダム女学院中学高等学校長

栗本嘉子



人事異動のお知らせ

I. 司祭・司牧者の異動

（4月1日付）

洛北ブロック 担当司祭

鶴山進栄師／京都司教区

（旧任命：三重南部ブロック 担当司祭）

三重南部ブロック 担当司祭

メディナ・ブルース師／フィリピン宣教会

（旧任命：奈良ブロック 協力司祭）

京都南部地区 協力司祭

イ・ウォンギョ師／チェジュ教区

II. 新しい職務の追加任命

（4月1日付）

カリタスジャパン担当

エミリオ・フォルトゥール師／グアダルペ宣教会

望洋庵 担当司祭

鶴山進栄師／京都司教区

中学生広島巡礼 担当司祭

京都チェジュ姉妹教区交流委員会 担当司祭

イ・ウォンギョ師／チェジュ教区

III. 教区外へ転出

（7月1日付）

ウィリアム・バティオノ師／聖ヴィアートル修道会

（旧任命：洛北ブロック 担当司祭）

但し、洛北ブロック担当司祭の任命は3月31日付で解除

IV. 新司祭の任命

（4月1日付）

奈良ブロック 担当司祭

中学生会 担当司祭

出水 洋師／京都司教区

*今までブロックの共同宣教司牧協力者として任命されていたシスター方の任命を、今年度より共同宣教司牧担当者に改めました。

2024年 京都司教区 共同宣教司牧 担当者一覧

2024年4月1日付

教区司教	大塚喜直	司教総代理	瀧野正三郎	本部事務局長	北村善朗
派遣	森田直樹	司教館付		花井拓夫(高野在住)	

京都北部ブロック

*頭島 光 三輪周平 ホセ・アントニオ C.

(丹後、西舞鶴、東舞鶴、福知山)

滋賀ブロック

*小立花 忠 ソ・ウォンハ
エミリオ・フォルトウール Sr.レオニダ

(大津、唐崎、安曇川、草津、彦根、長浜)

<京都南部地区>

洛北ブロック

*鶴山進栄 北村善朗

(衣笠<山国・宇津>、高野、小山、西陣)

洛東ブロック

*瀧野正三郎 菅原友明
グエン・ナン Sr.テッシー G.

(河原町、伏見、山科、桃山、北白川)

地区協力：イ・ウォンギョ

京丹ブロック

*一場 修 モンテロ G.ホルヘ
Sr.ポーリン・フェルナンデス

(西院、桂、長岡、九条、丹波)

山城ブロック

*福岡一穂 ホン・ユンハク
Sr.リーナ・ファラス

(田辺、宇治、精華、青谷、八幡)

奈良ブロック

*柳本 昭 G.ランディ
出水 洋 Sr.服部悦子
Sr.ローマ・ミンジ Sr.ロサ C.

(奈良、登美が丘、富雄、大和郡山、御所、西大和、大和高田、大和八木)

<三重地区>

三重北部ブロック

*フェリペ C. ブリー・ヨハネ
R.ブルーノ アダム・クジャク

(四日市、桑名、鈴鹿)

地区協力：ヴィクトール D.

フィリピン人司牧担当

京都北部・南部：Sr.信田祐子
三重北部：Sr.ヘンリエット
三重南部：Sr.ロサリオ

三重南部ブロック

*奥村 豊 ホセ A.ゴンザレス M.ブルース

(津、久居、上野、名張、伊勢、松阪)

京都教区信徒カテキスタ 誕生

2024年1月27日(土)、「信徒カテキスタ」選任式ミサが西陣教会において行われました。受講者16名が信徒カテキスタとして正式に任命を受け、新たな奉仕職の一步を踏み出しました。

養成講座プログラム

京都教区では、2022年10月から、教区において初めての信徒カテキスタ養成講座を実施。受講者は全18回のプログラムを15か月にわたりオンラインで受講しました。

プログラム前半では、キリスト教入門講座テキストを使い、カテキスタとして伝えるべきこと、求道者が疑問に思うこと、信徒だから伝えられることについて分かち合いを重ねました。後半では、受講者全員が模擬講座を担当し、求道者役の受講者を相手に、30分の講座を行いました。プログラムの締めくくりは

司祭による講義を聞き、講座案作成、講義レポートなどの課題にも取り組みました。

「教える」のではなく、求道者と同じ立場になって共に分かち合い、考える姿勢を大切に学び続けました。また講座全般において、教区の担当司祭より、適切なコメントや、多くの求道者と関わった体験から助言をいただいたことも、貴重な学びとなりました。



一人ひとりに十字架が授与された



福音を伝える信徒カテキスタ

大塚司教は、選任式ミサの説教で、朗読された福音箇所から「今日から皆さんは『信徒カテキスタ』として『収穫の働き手』になるのです」と呼びかけ、「カテキスタの仕事は洗礼準備と思われがちですが、それは一部に過ぎず、根本は福音を伝えることです」と強調されました。そして、家庭、職場、地域社会に生きる信徒として、日常生活の中での信仰体験を求道者と分かち合い、求道者からも学ぶ姿勢を持つようすすめられました。

この日、「信徒カテキスタ」として選任された一人ひとりには、「神への信頼と尊敬のしるし」として司教から十字架を授与され、神から与えられた使命を厳粛に受け止めました。

ミサの派遣の際、共同司式者の一場神父は、一緒に働く仲間が増えたことの喜びとともに、「福音を宣べ伝えることは苦しみが伴います。しかしその苦しみは必ず喜びに変わります」と、新「信徒カテキスタ」に励ましの言葉を贈りました。選任式を終えて新たな使命を受けた信徒カテキスタのメンバーの顔は晴れやかで、笑顔にあふれていました。

今後、信徒カテキスタは、所属ブロッ

クの司牧担当者や「求道者に同伴する信徒」と協力しながら、ブロック・小教区の実情に合わせて、入門講座の担当やそのサポートなどにあたります。信徒カテキスタが神の恵みによって、愛と希望をもって奉仕職を果たしていくことができるように、小教区共同体としてご協力をお願いいたします。

今回任命を受けた信徒カテキスタは左記のとおりです。

- 【洛東】 山科2名
- 【洛北】 衣笠1名 高野1名
- 西陣1名
- 【京丹】 長岡1名 丹波2名
- 宇治1名
- 【山城】 草津3名
- 登美が丘2名
- 西大和1名
- 【奈良】 登美が丘2名
- 西大和1名
- 【三重】 上野1名



新信徒カテキスタの声（一部紹介）

*自分の至らなさに受講を続けられないと思うこともあったが、ともに学ぶメンバーに共同体として支えられた。

*この働きは一人ではできないので小教区の協力者と共に奉仕したい。

*信徒カテキスタとしての責任、使命の重みを感じている。十字架を渡されたとき経験したことのない特別な思いがした。

*自分の中にある福音宣教への熱い思いに動かされ奉仕していきたい。

*新たな奉仕職をとおして信徒として福音に生き、神の招きに応える生き方ができるように更に励みたい。

カテキスタとは

おもに求道者の洗礼の歩みに同伴し、新信者の共同体生活を助ける奉仕職を「カテキスタ」と呼びます。教皇フランシスコは、2021年5月10日、自発教令「アントイクウム・ミニステリウム（古来の役務）」を発表し、カテキスタの奉仕職を制定しました。教皇は、教理教育の奉仕への協力に召されたと感じる信徒たちの存在を認めることが必要であり、カテキスタは信仰の証人・師・同伴者として、洗礼の秘跡の準備から生涯の育成にいたるまで、司牧に奉仕するよう招かれていると説明しています。

文責 福音宣教企画室



信徒カテキスタと大塚喜直司教、一場修師、エミリオ・フォルトウール師

京都教区時報2023年11月号2〜3ページに掲載の「信徒カテキスタ養成講座対面交流会」の記事も、あわせてお読みください。





2024年度 京都司教区オンライン聖書講座

マルコ福音書を読む

—まことのイエスと出会う—

	配信日	テーマ	講師	
1	5 / 16	マルコ福音書を読む (導入)	大塚 喜直	京都司教区司教
2	5 / 30	はじまり 洗礼と誘惑	澤田 豊成	聖パウロ修道会司祭
3	6 / 13	イエスと民衆	古屋敷一葉	援助修道会会員
4	6 / 27	イエスと故郷の人たち	中川 博道	カルメル修道会司祭
5	7 / 11	イエスと弟子たち	山本久美子	聖ヨゼフ修道会会員
6	7 / 25	ガリラヤからエルサレムへ	柳田 敏洋	イエズス会司祭
7	9 / 12	人の子の歩む道	一場 修	マリスト会司祭
8	9 / 26	エルサレムにて	英 隆一朗	イエズス会司祭
9	10 / 10	イエスの受難	エミリオ フォルトウール グアダルペ宣教会司祭	
10	10 / 24	イエスの復活と顕現	西 経一	神言修道会司祭
11	11 / 14	マルコの神の国	北村 善朗	京都司教区司祭
12	11 / 28	メシアの秘義	鈴木 信一	聖パウロ修道会司祭

◆期間 / 2024年5月～11月 (全12回)

◆配信日時 / 上記木曜日10時30分配信 (講座時間60～80分程度)

◆配信方法 / 申込者限定配信 (3か月間録画視聴可能)

◆対象 / どなたでも (京都教区外の方もどうぞ)

◆会費 / 4,000円 (1回のみ受講1,000円)

◆申込方法 / 京都司教区内の小教区に掲示してある聖書講座のお知らせか、教区のホームページをご覧の上、メールにてお申し込みください。お申し込み後、会費の振り込みをお願いします。

↑
詳細はこちらから

◆お問合せ / カトリック京都司教区聖書委員会

Mail / seisho@kyoto.catholic.jp

TEL / 075-366-6609 (月～木 10:00～16:00 金 10:00～12:00)



京都司教区聖書委員会

こんにちは シスター 共同宣教司牧担当者のシスターの紹介シリーズ

滋賀ブロック シスター レオニダ (カルメル宣教修道女会)

出身はフィリピンのイロイロ島で、7人きょうだいの6番目に生まれました。両親ときょうだい2人は神様の元に行きましたが、きょうだい2人はマニラに、2人はイロイロ島にいます。甥と従弟が司祭になりました。



母が毎日教会に行くので、私たちも子どものころからよく教会に行き、いろいろなアクティビティに参加しました。毎年5月には毎日教会に行き、マリア様にロザリオの祈りとお花を捧げました。

銀行で6年働いた後、毎日神様のために働きたいと思ってシスターになりました。聖書勉強会や、カルメルの学校の会計の仕事をした後、カルメル国際共同体の任命で、2002年に宇治カルメル修道院に派遣され、8年働きました。

その後、京都教区の任命を受け、山城ブロックに派遣されて10年働き、2年前から滋賀ブロックで働いています。滋賀県の教会で集会祭儀の司会をしたり、フィリピン人共同体の洗礼や初聖体、結婚の準備の勉強を教えたりするのが今の仕事です。滋賀県全域なので移動も大変で忙しい毎日です。でも、神様のためにがんばっています。神に感謝。

京都カトリック青年センターです。略して「センター」と呼ぶことが多いです。センターは、教区を超える青年活動についての京都教区の窓口となると共に、教区内での青年活動を行ったり、中学生の集いを企画運営したりしている団体です。2024年2月には、全国のカトリック青年の集い「NWM (ネットワークミーティング)」を京都教区主催で行いました。

文章で書くとなんだか堅苦しく聞こえてしまうかもしれませんが、要は、青年達が集まって、祈ったり、分かち合ったり、遊んだり、ご飯を食べたりしよう！ ということです(^^)

京都教区は「京都、滋賀、奈良、三重」から成っていますが、「私のところからセンターは遠いなあ」と思った人も大丈夫です！ 私たちが皆さんの住んでいるところまで行きます！ 2か月に1回、「運営委員会・青少年交流会」で、皆さんの地区を回っていますので、是非その時に交流しましょう♪



その他にもイベントをいろいろと行っていますので、ホームページもあるのですが、最近始めたInstagram も是非ご覧ください！ 情報を更新しています。気になることやご質問があれば、気軽に連絡してくださいね！ 運営委員/河原町教会 橋本仁子

つながりネットワーク 聖めようコミュニケーション

京都カトリック青年センター

青年センターは、教区を超える青少年活動について
京都教区の窓口となると共に、京都教区内の各教会、
青年の各諸活動をバックアップするための機関です。



← 青年センターの Instagram はこちらから

お知らせ

司教

大塚司教の予定

最新の情報は京都司教区のホームページにてご確認ください。右記のQRコードからも確認できます。



教区

召命祈願ミサ

日時：4月21日⑨ 9:00 場所：西陣教会

正義と平和協議会

学習会「東アジアと日本

なぜ朝鮮半島の研究をしようと思ったのか？」

講師：太田修さん（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授）

日時：4月20日⑤ 14:00~17:00

場所：河原町教会ヴィリオンホール

問合せ：正義と平和協議会

Tel：075-366-6609(月・火・木 10~16)

メール：seiheikyo@kyoto.catholic.jp

広報委員会

教区時報6月号の原稿締切日は4月15日⑨です。

お知らせに掲載希望の場合は、メールにてご連絡ください。honbu@kyoto.catholic.jp



聖ヴィアートル修道会日本宣教撤退と北白川教会の司教区への移管のお知らせ

聖ヴィアートル修道会カナダ管区は、2024年3月31日をもって、日本・カトリック京都司教区から撤退することを決定されました。これにより、日本での宗教法人聖ヴィアートル修道会は解散し、聖ヴィアートル学園（洛屋中・高）の運営からも撤退されます。

・聖ヴィアートル修道会所属のカトリック北白川教会の土地・建物は、宗教法人カトリック京都司教区に移管されます。

・2024年4月1日から、北白川教会を洛北ブロックから洛東ブロックに編入します。

聖ヴィアートル修道会の76年余にわたる京都司教区での宣教活動と、京都司教区で奉仕された司祭・修道士会員、特にウィリアム神父様に対し、心から感謝申し上げます。今後のカナダ管区での宣教に神の導きと祝福がありますよう、皆様もともにお祈りください。

カトリック京都司教区

主のご復活おめでとうございます！



諸団体

京都カトリック混声合唱団

4月14日⑨ 14:00 聖歌練習

4月27日⑤ 17:30 練習後、ミサ奉仕

場所：河原町教会聖堂

問合せ：075-951-4283 則武 隆

コーロ・チェルステ（女声コーラス）

練習：4月11日⑥ 10:00 25日⑥ 10:00

場所：河原町教会2階楽廊

問合せ：075-561-5971 駒井和子

聴覚障がい者の会・京都グループ

手話表現学習会（聖書と典礼）

日時：4月16日⑦ 13:00~15:00

場所：希望の家地域福祉センター

京都市南区東九条東岩本町31-10

申込・問合せ：Tel・Fax：075-723-1135 傳 裕子

心のともしび

ラジオ番組案内（全国34局で放送）

KBS京都 ⑨~⑫ 朝5:55

⑬ 朝5:15

ラジオ関西 ⑨~⑫ 朝5:00

⑬ 朝6:05

毎日放送 ⑨~⑫ 朝5:45

⑬ 朝4:55

4月のテーマ「大切なこと」



大塚司教年頭書簡は

こちらから



皆さまのまわりに点訳版「京都教区時報」が必要な方がおられないでしょうか。点訳版「京都教区時報」をご希望の方がおられましたら、カ障連大阪フレンドリー点字部・笠松幸彦さんまでお申込みください。無料でお送りします。

Tel・Fax/072-722-0271